

# 新人事課総括課長と着任交渉 (4/20)

## 真摯に聞き誠意をもって勤務環境整備に取り組む

# 岩手県職労

月2回刊=1507号  
2018年4月30日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所  
盛岡市内丸10番1号  
岩手県庁内  
岩手県職員労働組合  
印刷所  
盛岡市上田二丁目17-4  
有限会社 ジョー印刷企画  
一部 40円  
組合員購読料は組合費に含む

### 来年度新採用2000人超引き出す

4月20日、佐藤法之人事課総括課長の着任に伴い、人事課長の基本姿勢と継続課題改善に向け交渉を行った。佐藤人事課長は、意見を真摯に聞き、誠意をもって応えること、勤務環境整備に取り組むとの基本姿勢を示した。交渉では人員確保、賃金・諸手当、超勤課題をはじめ職員を取り巻く課題の早期改善を求めた。

#### 【人員課題】

4月時点での欠員数は精査中としながらも、知事部局全体として1000人を下回る規模が見込まれる(確定数93人)とし、未だ多数の欠員があることから、特別募集の実施などあらゆる方法で欠員解消に向けた努力をするとの姿勢を示した。さらに、2019年度の採用職員の募集規模を今年度の特別募集(40人規模)を含めて2000人超の見通しを示した。



▲課題について佐藤人事課総括課長に見解を求める小野委員長(写真中央)



▲写真中央が佐藤人事課総括課長

解消とともに、今後実施される任期付職員の任期の定めない職員の選考採用枠の一層の拡大を強く求めた。

#### 【育休代替職員の確保】

特に専門職種の育休代替職員の配置に努めるとしながらも、欠員解消を優先するため、臨時職員で対応している状況であるとした。

#### 【賃金改善(主に高齢層)】

主幹任用や勤勉手当の運用上の工夫を継続するとの姿勢にとどまった。なお、本年4月時点での新たな主幹任用は42人(事務13人・技術29人)、そのうち55歳以上は28人との回答を引き出した。交渉団からは来年度3月で給与制度の総合的見直しの現給保障が満了することから、現給保障対象者の状況を踏まえ一層の対策

#### 【専門職種の処遇改善】

獣医師に関し、昨年度は30人の採用予定数に対して全体で11人、薬剤師は4人

### 県職連合第24回 定期大会 県職労第120回

●日時 2018年6月9日(土)  
●場所 自治労県本部大会議室

#### 【諸手当改善】

交通用具利用に係る距離区分の新設や高速道路利用の手当改善は課題意識を人事委員会と共有しているとし、人事委員会との意見交換を継続して検討するとした。交渉団から距離区分の新設等は18確定闘争で具体的改善を行うこと、家賃高騰に伴う住居手当改善も進めるよう求めた。

#### 【超勤課題】

事前命令・事後確認等の徹底とともに、適正な勤務時間の把握に努めること、各分局の管理課長会議で趣旨を徹底するとした。超勤予算に関し、各分局からヒアリングを行い、適切な予算確保を行ってきたとし、今年度も対応していくこと、

#### 【賃金改善(主に高齢層)】

主幹任用や勤勉手当の運用上の工夫を継続するとの姿勢にとどまった。なお、本年4月時点での新たな主幹任用は42人(事務13人・技術29人)、そのうち55歳以上は28人との回答を引き出した。交渉団からは来年度3月で給与制度の総合的見直しの現給保障が満了することから、現給保障対象者の状況を踏まえ一層の対策

#### 【超勤課題】

事前命令・事後確認等の徹底とともに、適正な勤務時間の把握に努めること、各分局の管理課長会議で趣旨を徹底するとした。超勤予算に関し、各分局からヒアリングを行い、適切な予算確保を行ってきたとし、今年度も対応していくこと、

### 2018 専従役員紹介

県職労は第1回中央執行委員会を開催し、今年度の執行体制として小原大副執



副中央執行委員長 小原大  
盛岡支部・農村整備室分会



書記長 小澤 豊和  
県庁支部・資源循環推進課分会



書記次長 佐々木辰治  
県庁支部・建築住宅課分会

4月から、小野演彦中央執行委員長、大崎勝弘副中央執行委員長、10名の中央執行委員の専従役員と3名の専従役員全員で2018

年度における県職労の運動を進めていく。ぜひ各支部においても早

花見の季節がやってきた。県内各地で桜が満開となり、春本番だ。花見といえば、ビールと弁当を持って家族や友人と楽しむ機会もあるだろう。▼「ビールと弁当は花見」というフレーズはどこかで聞いたことがある。1年前は共謀罪法が衆議院で審議中。金田前法務大臣の「ビールと弁当を持っていけば花見、地図と双眼鏡を持っていけば下見」の珍答は憲法を擁護すべき大臣として論外な答弁だ。しかし数の力で強硬採決をした。その後も安倍政権の珍発言はとどまるところを知らない▼森友学園疑惑で安倍首相は「私の妻が関与していたら国会議員を辞めると表明。これが財務省の公文書改ざんはじめ村度政治を助長した。各種疑惑発覚から1年間でようやく安倍首相の責任追及が加速したが、その間も安倍首相は衆議院選挙でも国民を欺いてきた▼国民を欺く政治は必ず綻びが出る。自衛隊幹部の暴言からも自衛隊を憲法に明記する改憲は軍部の暴走にお墨付きを与え、これほど危険なものはない。憲法記念日は1年間の政治を振り返り、憲法理念を生かした政治に取り戻す決意を固める日にしていきたい。

### 第五世代

【今後の取り組みに向けて】交渉では、人事課長の基本姿勢が示されたものの、ほとんどの課題で現状認識にとどまり、不十分な姿勢だ。18確定闘争に向けて人員不足等の実態把握を進め、職場実態に依拠しながら、要求前進に向けて取り組みを強化していく。

### 竹花さん6選果たす

#### 「住民の視点で活動」決意語る

4月15日告示・22日投票の宮古市議選(定数22人、立候補者24人)では、県職労推薦候補の「竹花くにひこさん(66歳・現5期・民主党公認・宮古市職労出身)は1、766票を獲得し、見事3位当選を果たした。竹花くにひこさんは「震災復興後の街づくり、福祉の充実など、生活者・労働者の視点に立って活動してきた。住民の声を丁寧に聞きながら、働く者・生活者の視点での市政の推進に向け活動していく」との6期目の決意を表明しました。



▲上位で6選を勝ち取り喜びの竹花くにひこさん

# 昇給昇格等発令通知書は大切な情報です

## 現給保障維持に向け実態調査に協力を

4月1日付で昇給昇格等発令通知書が発出されている。この通知書には、昇給・昇格の状況、来年3月で現給保障期間が満了する給与制度の総合的見直しの現給保障対象の有無、昨年の人事評価の結果など重要な情報が示されている。組合員の皆さんはぜひ確認いただき、給与制度の問題点など改めて確認しよう。

● 昨年度中に55歳に到達した組合員は、昇給状況の確認を。55歳昇給抑制の影響をチェックしよう。

● 昨年度の人事評価の結果を確認し、透明性、納得性が担保されているのか確認し、問題点を認識しよう。

● 昇給・昇格等発令通知書を開く

● 昇給・昇格後の号給・給料月額等が示される(点線枠内)。

● 昨年度の人事評価結果を踏まえた昇給区分が示される。

● 現給保障対象者には現給保障対象者の旨と保障額が示される。

● 昇給・昇格は? ● 主幹任用された組合員は給与額をチェックしよう。行政職6級になったとしても上げ幅が勤務意欲を維持

● 昇給・昇格は? ● 昇給区分等の欄に人事評価結果を反映した昇給区分(A~E)が印字されている。

● 昇給・昇格等発令通知書を開く

● 昇給・昇格後の号給・給料月額等が示される(点線枠内)。

● 昨年度の人事評価結果を踏まえた昇給区分が示される。

● 現給保障対象者には現給保障対象者の旨と保障額が示される。

**1 総務事務システム**

- 職員情報変更システム
- 決裁者情報の登録
- 所属内決裁者情報の確認
- 給与支給明細書
- 年末調整システム
- 勤務時間管理システム
- 手当認定システム
- 共済・互助会システム
- 共済・互助会給付等通知書
- 口座管理システム
- 身上調書システム
- 昇給管理システム
- 健康管理システム
- 文書閲覧システム

**昇給管理システムを開く**

**2 昇給管理システム**

■ 発令通知書

昇給・昇格発令等通知書

**3 昇給・昇格発令等通知書**

所属			
氏名	職員番号	級	号給
H30.4.1	行政職	5	85
給料月額		昇給区分等	
394,100円		C	

平成28年岩手県条例第9号附則第6項の規定により396,800円を給する。

ご協力を  
県職労は現給保障対象者の実態を把握し、18県人勸闘争・確定闘争で実態を突き付け、期間の延長を含め要求を進める。現給保障対象の方は実態調査にご協力をお願いする(各支部書記に申告を)。

## 4・9反核燃の日全国集会

### 「核のゴミ」はいらない 再生可能エネルギー社会の実現を

「世界一安全な原発」である事故は起こった。一旦、制御不能となれば暴走、火山列島の原発は核の時限爆弾。脱原発、脱化石燃料の省エネと再生可能エネルギー社会の実現に向け試行錯誤していくことが日本が選択すべき方向だと思っ

「反核燃の日」は1985年の4月9日、当時の北村青森県知事が青森県への核燃料サイクル施設受け入れを決めたことに抗議するもので、今年も4月7日、青森市にある青い海公園で第33回「4・9反核燃の日全国集会」が開催された。冷たい雨が降る中での集会だったが全国から約940人が参加し。県職労からは、熊谷勝文さん(宮古支部・本部長)と小笠原和夫さん(久慈支部)の二人が参加。

4月7日早朝、貸切バスで青森へ向かった。道中D.VDを鑑賞した。その中にドイツの脱原発、再生可能エネルギー転換の現状の取材があった。電力融通する欧州にあつてドイツの電力供給は輸出超過であり電力を隣国の原発等に依存していないという。再生可能エネルギーは日進月歩で、効率性や安定供給の課題も分散と融通などで克服。エネルギー転換率は年次目標を上回っているという内容であった。



「青い海公園」での反核燃の日全国集会の様子

## 県職労ガイダンス

### 先輩組合員が歓迎のメッセージ 新しい仲間へ「くみあい」加入を呼びかける

4月11日、18日の2回、県職労本部は、清温荘で行われる新採用職員研修のお昼時間に、新採用者ガイダンスを開催。ガイダンスでは、小澤豊和書記長が組合を代表して歓迎のあいさつ、組合活動を説明。

県職労の活動については「県職労では、初任給を5年連続引き上げて、月額8,600円5年前の採用者より引き上げ、年間で約10万円増やしている」と賃金と権利の成果を説明。11日は、先輩組合員のメッセージとして、県庁支部青年婦人部千田江美(医療政策室分會)さんから、「県で働くなかで、今の職場の働き方をあたり前と思って



▲4.11新採用者ガイダンスの様子

しまが、組合では働き方を考えたりする交流の機会もあり、いろんな人と交流できます」とアピール。2回目のガイダンスでは、新採用者に小澤書記長が「定時に帰っていない人」



▲4.18新採用者ガイダンスの様子

適切な人員配置で 職員が安心して働き続けるために

## 「分会基礎調査」へのご協力をお願いします!!

県職労では、各分会における組織体制を県職労全体として把握し、来年度の人員要求に早期に取り組むため「分会基礎調査」を行います。適切な人員配置は、職員が健康で安心して働き続けられるために最も重要です。職場の組織要望の取組みも、分会体制があつてこそ。ぜひ、各分会の調査へのご協力をお願いします。

● 基準日 2018年5月1日(火)  
● 集約日 2018年5月31日(木)